

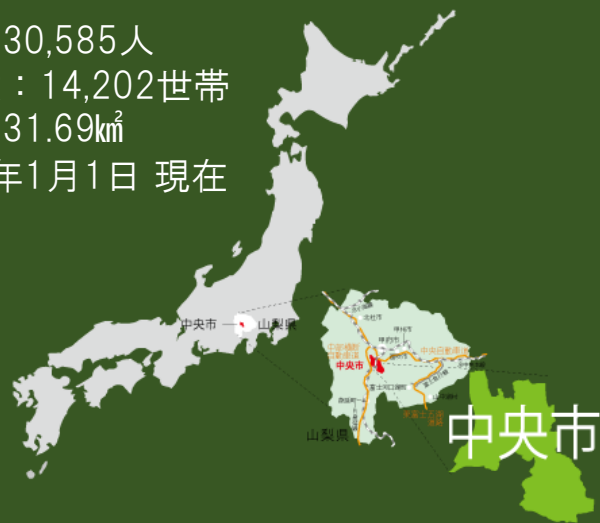


自治体の紹介

背景

現状の課題

人口：30,585人
世帯数：14,202世帯
面積：31.69km²
令和7年1月1日 現在



交流と活力が織りなす 彩り豊かな“産業未来都市”中央市

中央市は、山梨県のほぼ中央に位置し、中央自動車道、中部横断自動車道その他、リニア中央新幹線山梨県駅などへのアクセスが良く、今後の更なる発展を期して、令和6年度には「交流と活力が織りなす彩り豊かな“産業未来都市”」をコンセプトポリシーに「まちづくりアクションプラン」を策定し、まちづくりに取り組んでいます。

一方で、今後の少子高齢化にむけて「企業版ふるさと納税」の推進も積極的に進めており、市ではその“パートナー”を求めています。

	年少人口	生産年齢人口	老年人口
1980年	25.4%	64.4%	10.2%
2015年	13.7%	63.6%	22.8%
2020年(※)	11.3%	64.6%	24.2%
2040年	10.5%	50.2%	39.3%

年齢3区分別人口の推移

1980年には25.4%（4人に1人）であった年少人口は、2040年には10.5%（10人に1人）へと減少すると見込まれています。一方、1980年には10.2%（10人に1人）であった老年人口は2040年には39.3%（2.5人に1人）となります。

現状としてはほぼ横ばいとみられる生産年齢人口も、今後人口全体の高齢化により割合が減少し、50.2%まで減少します。

出典：総務省「国勢調査」（実績値）、社会保障人口問題研究所「将来推計人口」（推計値）

※ 2020年については年齢不詳が2,784人いるため、その全てが生産年齢人口であった場合として補正を行っている。



事業の目的

子育てを切れ目なく支え、こどもが伸びるしくみづくりを行うこととして、子育て拠点施設として中央市子育て支援センターを整備し、安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、英語検定受験料補助事業などによりこどもたちの学習意欲の向上を図っています。

事業内容

○ 地域で子育て支援できる体制の整備

子育て世帯が気軽に集い、相互の交流や育児相談を行うことのできる地域子育て支援センターの充実など各種子育て支援サービスの充実を図り、地域住民と連携し切れ目ない支援を行える体制づくりを進めていきます。

▽子育て支援センターの充実 ▽子育て支援活動育成事業

▽外国籍児童の第3の居場所

○ 子育てにおける経済的負担の軽減

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、本市独自の子育て支援策の充実を進めます。

▽保育料の完全無償化 ▽18歳までの子ども医療費無償化 ▽ヘルメット購入助成

○ 学習意欲の向上促進

英語検定などの受験料への助成を行うことで、地域のこども達の受検機会の拡大と学習意欲の向上及び学力向上を図ります。

▽英語検定などの検定料の助成 ▽ICT教育の推進

中央市子育て支援センター
「しん☆ちび」





得られる
成果等

- ・ 出生数の増加による、年齢3区分別人口のバランス向上
- ・ 子育てしやすい環境であれば、2人目、3人目の子供を生み、育てようという意識の改善により、人口の自然増が見込める

寄附を
する
メリット
等

- ・ 自治体ホームページへの企業名の公表
- ・ 広報紙への寄附の公表

連絡先

中央市役所 未来戦略部 政策秘書課 市政戦略担当

E-Mail : seisaku@city.chuo.yamanashi.jp

電話 : 055-274-8512